

「地域課題分野」（平成28年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
黒部川における安定した石礫交互砂州河道の回復技術に関する研究	中央大学 後藤 岳久	B
<研究概要> 本研究では、滞筋の直線化や河床低下の進行した黒部川の交互砂州区間について、交互砂州河道を回復させ、これを長期に亘って維持出来る技術を提案する。愛本床止め下流に2基の巨石付き盛土砂州を設置して低水路の蛇行線形を回復させ、既設縦工群の機能を回復させる。これらの設置効果について、モニタリングとそれを用いた石礫河川の河床変動解析により検証する。床止め下流の河床低下を緩和するため、愛本堰堤からの排砂を促進する石畳排砂水路の設置を提案し、その効果について検討する。		
<事後評価指摘事項> 黒部川の河道固定の解消に向けた河道管理に有用な知見をもたらしており、研究目的は概ね達成している。 しかしながら、大胆な河道改修を提案しているが、実験と解析で流砂の移動を再現しているかどうか疑問が残る。 今後は、クリーク／石畳水路の設備効果の現地検討（最大粒径の変化を含む）を推進して欲しい。また、巨石付き盛土砂州による長期的な河床変動に与える土砂供給の影響をさらに検討した研究が期待される。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとはいえない。